

日本共産党

4月7日川崎市議選

多摩区の市会
あなたの一票を

赤石

ひろ子

あかいし 博子

●プロフィール

1961年1月18日生まれ。群馬県みどり市出身。群馬県立前橋女子高、立教大学文学部日本文学科卒。雑誌編集者32年。NHK「きょうの健康」などの編集にたずさわる。家族は子ども1人。趣味：民舞、料理、中野島の太鼓クラブで14年間活動。東生田1丁目在住。

「国民健康保険料や介護保険料が高い」「子育てにお金がかかりすぎる」などの切実な声にこたえて、川崎の豊かな財政力を福祉・子育て支援に切り換えます。32年間ジャーナリストとして社会を見つめてきました。子ども、高齢者、障がい者など、すべての人たちが生き生きと暮らせる街づくりには、斎藤たかし市議員からバトンタッチし、力を尽くします。

格差をなくし、だれにも優しい川崎に

ジャーナリスト
32年

子育て・福祉優先の市政へ

赤石ひろこ 検索

[f](http://akaishi-hiroko.jp/) [t](http://akaishi-hiroko.jp/) [HP](http://akaishi-hiroko.jp/) <http://akaishi-hiroko.jp/>

証紙

安倍政権のくらし壊しから

いのちと福祉を守る市政へ



赤石ひろ子は 新しい市議会で全力

共産党が12議席に伸びれば、
発言力・提案力・実現力がさらに
パワーアップします。

中学卒業まで子どもの医療費無料に

所得制限・一部負担金なくす(通院)

高すぎる国民健康保険料引き下げ

当面、川崎市として一般会計からの繰り入れで、1世帯年額
1万円の引き下げを。国に1兆円の公費負担をもとめます。

特養ホーム4800人分増設、 介護保険料の減額

雇用を増やし、地域経済活性化へ

中小企業支援予算を140億円に拡充

地震・豪雨対策の推進

臨港道路 1本に980億円など 不要不急の大規模開発ストップ

くらしの財源はあります

市税収入6年連続過去最大

- 2150億円の不要不急の大規模事業を見直し
- 市のためこみ金(減債基金) 1000億円

中学校給食が実現!

- こども文化センターのエアコン設置
- 学校トイレの洋式化全校実施
- 就学援助の入学準備金増額と前倒し支給実現
- 危険なブロック塀の改修予算増額
- 夏休みなどの、わくわくプラザの開所時間を繰り上げ



10人の議員で動かしてきました

認可保育園の増設を推進

- 市の「7000人の児童受入れ枠確保」を8665人に拡大

特養ホーム5カ所増設

- 特定健診無料化へ



障がい者の夕方支援を拡充

- 障がいをもつ高齢者のショートステイ実現
- 障がい者相談支援事業費1カ所あたり人件費48万円、家補助1カ所月5万円増額

中小企業振興条例制定

防災対策の拡充

- 木造住宅耐震化補助の拡充
- 耐震シェルター、一部屋耐震に補助
- 救急隊の増隊
- 消防ポンプ車購入実現



駅・交通の改善

- 武蔵小杉駅南武線ホーム拡幅
- JR横須線武蔵小杉駅改札口の増設、エレベーター設置
- 田園都市線溝の口駅、京急川崎駅にホームドア設置
- JR中野島駅に臨時改札口設置。橋上駅舎化へ
- JR津田山駅、久地駅、稲田堤駅の橋上駅舎化へ

2150億円ものムダな大規模事業を 厳しくチェック

- 川崎港湾計画 約1310億円
- 羽田連絡道路建設 約300億円
- 東扇島堀込部埋立事業 約240億円
- 川崎アプローチ線事業 約300億円 など

市民の願いに対する各党の態度は

2015年以降の定例市議会から抜粋(賛成○ 反対●)

川崎市会で市への請願・陳情、国への意見書への態度	自民	公明	民進	共産
安心して子どもを産み子育てしやすい街づくりを求める陳情(2016年8月)	●	●	●	○
小児医療助成制度に「一部負担金」を導入しないことを求める請願(2016年10月)	●	●	●	○
介護保険料の引き上げを中止し、払える保険料にすることを求める陳情(2018年3月)	●	●	●	○
消費税の増税中止を求める意見書(2018年12月)	●	●	●	○
「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める陳情(2019年1月)	●	●	●	○

※民進みらいの会派名は、旧民主みらい、現在はみらい

“川崎から”安倍政権に審判下し、新しい政治を

消費税10%増税の中止を

9条改憲NO! 戦争する国づくり許さない

原発ゼロの日本を

日本共産党の赤石ひろ子候補へ一票をお寄せ下さい